

入社12年目 社員へのインタビュー

(技術第一部所属 課長補佐)

日本テクノで活躍する女性コンサルタントに、仕事の内容、目指したきっかけ、出張などについて聞きました！！

ー 水の開発コンサルタントとは、どんな仕事？

海外の色々な国に、水を供給する施設を作るため、調査・設計・工事監理などの仕事をしています。

施設の規模は、小さな村への給水から、大都市の水道まで様々です。



ー 出張先での楽しみは？

現地のローカルな市場に行くのが好きです。マンゴーはアフリカで1つ30円などで手に入ります！

他に、休日に現地の人とランニングをすることもあります。



ー 開発コンサルタントを目指したきっかけ

援助の仕事には子どもの頃から興味があり、小学校卒業の頃、エチオピア飢餓の問題に影響を受けた記憶があります。中学・高校の頃に、仕事として取り組もうという考えが固まり、NGOなど考え始めました。

水分野は、大学3年生で水に関する授業を取り興味を持ち始めました。大学2年生の時に、米国からガンビアに1カ月間インターンに行った経験も、きっかけの一つでした。

ー 学生時代は何を勉強？

大学の専攻は「Global Studies」でした。なので、始めから上水道技術を勉強していたわけではないです。

卒業後、イギリスの大学院で「Master of Science (Water and Environmental Management)」を専攻しました。



ー 社員の仕事の範囲は？

社内は、大きくソフト系とハード系に分かれます。

私の所属するハード系では、1人の守備範囲は結構広いと思います。

ある程度は専門化されていますが、案件によって、設計を担当したり、調達計画を担当したり…と役割が変わって、広くカバーして仕事をしますね。

— この仕事に必要な能力は？

水道の技術は求められますが、技術力だけではできない仕事だと思います。

技術を適用して問題解決に取り組む力と、国の援助なので、相手国の実施機関と常に合意形成する「調整力」が大切です。



— 技術士について

コンサルタントの仕事に重要な国家資格「技術士(上下水道部門)」に、去年合格しました。

仕事と勉強の両立は大変でしたが、週末に勉強したり、先輩社員に教えてもらったり、同僚との情報交換などに助けられました。

— 語学力は？

語学はもちろん必要ですが、語学力よりも、コミュニケーション能力が大切だと思います。

プロジェクトは多くの関係者がチームとなって進めていくものなので、最初から最後まで密に協議しながら、取り組むことが必要です。

そのためには、「語学」にとられず、「伝える力」と「理解する力」が求められると思います。

— この仕事の好きなところ

成果が、人々の生活水準の向上に結び付くのが見えるところ。水が出て喜んでいらっしゃる方たちの顔を現地で見られたときは、嬉しいです。

お読み頂きありがとうございました！当社の仕事に興味をお持ちの方は、当社ウェブサイトの「プロジェクト紹介」「採用情報」もご覧ください。

— 印象に残っている出張は…



ルワンダでの施工監理（建設工事を監理する業務）です。現場でどのように物を作るかに関わることができました。

現場の仕事は日々課題が生まれて、それを1つ1つ解決しないといけません。現地責任者として、日本にいるチームと相談しつつ進めていきました。

— 大変だと感じる部分は？

仕事は期限があるので、忙しい時期も乗り切らないといけないです。

他には、相手国の情勢に左右されることや、相手国側と方針が合わず進まないこともあります。

大変なことも成長へつなぐと考えると、よりよい開発コンサルタントを目指したいと思います。